令和8年度

授業改善推進プランの全体計画

小平市立小平第三中学校

生徒の実態

・明るく素直な生徒が多い。
・学校行事に積極的な生徒が多い。
・特別な支援が必要な生徒がいる。
・集団で行う奉仕活動に意欲的に取り組む。

地域・教師の願い

・礼儀正しく、規律ある行動がとれる、さわやかな生徒。

・積極的に物事に取り組み、最後までやり抜く生徒。

・自分で正しく判断し、適切な行動がとれる生徒。

・地域社会の一員として温かい心をもち、思いやりの心で集団団や社会のために尽くす生徒。

学級活動	・集団生活の基本的行動の具体的な実践指導により、責任感や規律の高揚を図る。 ・学級内の係活動等を通して、「心の居場所」の確保を図る。
生徒会活動	・諸活動への参加を通して、自己の役割、特性に目覚めさせ、自発性、主体性、連帯・奉仕の心を育む。
学校行事	・行事の計画や実践を通して実践力、集団の一員としての自覚、責任感、協調性を育む。 ・地域の一員と日本人としての自覚を培う。

本校の教育目標

○**健　康**　ゆたかな心　たくましいからだ
○**実　践**　進んで学び　積極性を養う
○**協　力**　ひとりはみんなのために
　　みんなはひとりのために

学力向上に関わる学校経営方針

・学習指導要領を踏まえ、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるようにし、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む指導を充実させる。

・学習指導要領の学力観に基づいた評価計画や評価方法の工夫・改善を進め、「魅力ある授業」への実践力を高める。

・授業では「ねらい」や「めあて」、「授業の流れ」をホワイトボード等に明確にするとともに「振り返り」の活動を行う。ICT 機器を積極的に活用したり、英語科においては少人数・習熟度別指導を行ったりする等、指導方法について工夫・改善を進める。

・学力において克服すべき課題のある生徒を支援するため、ティームティーチングや学校支援ボランティアなどの外部人材を活用する。「地域未来塾」など多様な学習の場を提供する。

本校における学力の捉え方

○自らの能力を高め活用し、これからの社会に貢献できる学力や技能を身に付ける。

○自らの課題を解決する能力、情報活用能力、コミュニケーション能力、表現力、思考力を身に付ける。

○学習に対して自主的、主体的に取り組む態度を身に付ける。

○日々の授業とスタディサプリの活用を通して、基礎学力の向上を図る。

○自己の生き方を考え、人間関係を形成する力を身に付ける。

日本国憲法　教育基本法
学校教育法　その他の法令

中学校学習指導要領
総則・各教科・道徳
特別活動・総合的な学習

東京都教育委員会の教育目標
小平市教育委員会の教育目標

道徳教育との関連

・人権教育の精神を基盤に、思いやりのある豊かな心を育む。

・各教科、特別活動など全教育活動を通して道徳的価値の認識を深化し、道徳的実践力を育む。

・自尊心の尊重を通して規範意識を高める。

日々の学習指導との関連

・生徒が自分で課題を見つけ、考えて判断し、問題を解決していく資質や能力を育む。
・協同学習などのグループワークや調べ学習等を通して、深い学びにつなげられるようにする。

生活指導・進路指導との関連

・お互いの良さを認め合い、高め合い、思いやりの心を育む。
・生命の尊さを知り、人権尊重の精神をもち、健康で安全な生活ができるようにする。
・ルールに対して正しい捉え方ができ、集団生活の中で他と協調し生活できるようにする。

授　業　改　善

☆指導内容・方法の工夫

・思考力・判断力・表現力の向上のため、班活動やスピーチ等を通して論理的な思考力を育成する。
・表現力を向上させるために、自分の考えを多く発表する場面を設定する。
・授業における ICT 機器の活用を推進し、授業内容に対する興味・関心と深い理解を促す。
・対話的で深い学びを実践し、生徒の主体性を養う。
・評価方法等をあらかじめ提示し、生徒の主体的な学習を促進する。
・学習掲示板を活用し、1年間の学習の見通し等をもてるようにする。
・定期テスト前に学習計画表を活用し、計画的に学習に取り組めるように指導する。
・定期的に小テストなどを実施し、基本的な知識を身に付けられるようにする。
・スタディサプリの活用を促し、家庭学習の習慣を身に付けられるようにする。

☆研修・研究の工夫

・東京都教職員研修センターでの研修や小平市中学校教科等研究会等に積極的に参加する。特に、授業において思考力・判断力・表現力を育む指導方法について理解を深める。
・ICT の活用を積極的に進め、指導方法を工夫する。
・生徒が、自己の将来を見通し、夢や目標をもてるような活動を総合的な学習の時間や学活等を活用して行う。
・小学校との連携を強化し、小学校における学習の程度を把握して授業を行う。

☆評価活動の工夫

・公開授業のアンケートや生徒による年1回の授業評価等を生かした授業を展開する。